

2021年 NBS新春講演会のご案内

アメリカの新大統領就任式をテレビで見ながら、“コロナ禍”に翻弄されつつも、時代が粛々と変化している事を改めて感じています。

さて、重ねてのご案内となりますが、「NBS 新春講演会」の開催につきまして、【第三信】のご案内をお送りいたします。

既にご案内の通り、今回の講師には第一生命経済研究所 経済調査部 首席エコノミストの熊野英生氏を再びお迎えし、『2021年日本経済・社会の展望と対応(仮題)』と題して、ご講演をいただきます。

思えば、4年前のトランプ政権誕生以来、熊野先生には折に触れてご講演をお願いして参りましたが、日米共に「新政権」で臨む本年度は、果たしてどんな“世界”に向かっていくのか、二年越しの“コロナ対策”の行方も踏まえ、来るべき時代への展望をお示しいただけるかと考えています。

尚、“コロナ対策”での「緊急事態宣言」が発出されている時期では有りますが、NBS といたしましては、事態が好転することを祈りつつ、万一、リアルな講演会が実施できない場合でも“代替案”をお示しすることを含めて、今後の準備を進めて行きたいと存じます。

ご多忙な折とは存じますが、皆様の奮っての御参加をお待ち申し上げます。

2021年1月21日

NPO ビジネス・サポート
理事長 観野 福太郎
(送信代行：事務局長 橋本弘毅)

「NBS 新春講演会 開催概要」

- 日時 2021年2月8日(月) 講演会 15:00~17:00
*『コロナ対策』の関係で、今回も講演会のみを設定とさせていただきます。
- 場所 霞が関 商工会館 6G会議室
(住所)千代田区霞が関3丁目4-2
- 講演会 講師:熊野英生氏
(第一生命経済研究所 経済調査部 首席エコノミスト)
演題:『2021年日本経済・社会の展望と対応』
- 参加費 一般参加者 2,000円、 NBS 会員 1,000円
- ご講演要旨

2021年の日本経済の展望 (*熊野先生にお示しいただいたご講演の要旨)

- ・全国の主要地域で再度の緊急事態宣言が発令された。コロナ収束の鍵は、ワクチン接種が握っている。しかし、接種が開始されても、景気のV字回復は望めない。
- ・政府は、東京五輪を期に内外に収束をアピールして、それを経済挽回の足掛かりにしようとしているが、そのシナリオも暗雲に包まれている。
- ・その一方で、中国経済は回復し、米経済もバイデン新大統領に変わって大規模な財政出動で復活するとの期待感が強い。
- ・明暗が分かれる中、日本経済にも回復する部分と遅れる部分が鮮明になっていくとみる。

- 講師のプロフィール

*熊野 英生 氏

(ご略歴)

1967年7月 山口県生まれ。横浜国立大学経済学部卒。

1990年 日本銀行入行。調査統計局、情報サービス局 勤務

2000年 第一生命経済研究所入社。2011年4月より首席エコノミスト。

2008年より日本FP協会評議員。2015年より日本FP協会理事。

・ご著書等:「なぜ日本の会社は生産性が低いのか」(文春新書) 2019年1月 発刊

その他「バブルは別の顔をしてやってくる」(日本経済新聞出版社)

「本当はどうなの? 日本経済—俗説を覆す64の視点」(日本経済新聞出版社)

など多数。

ご専門は、金融政策、財政政策、為替市場、経済統計。

【申込方法】

・ご参加ご希望の方は、本メールの返信または下記のFAX宛にて、2月1日(月)までに、NBS事務局：橋本宛にご連絡をお願いいたします。

なお、領収書の必要な方は、領収書の宛名も併せてお知らせ願います。

ご参加ご希望の方は、以下の宛先にご連絡ください。

・[E-mail] 当メールの返信にて、ご連絡願います。

< hashimoto.13530.shizu.sakura@catv296.ne.jp >

・[Fax] 043-376-1415 NBS事務局 宛

以上